

四 きょう土を開いた人びと

明治時代に入り、士族しぞくによる開こん、入江新六郎いりえしんろくろうや水野谷徳次郎みずのたにとくじろうによる、田畑の開こん、用水路の造成そうなど、苦勞して行われました。

昭和二十二年から行われた、農地解放かいはつによって、田や畑が、農民のものになると、ますます村が開けてきました。

わたしたちの村は、どのようにして開けてきたのでしょうか。

(一) 土地を開いた人びと

移住開こんいじゅうかいこん（滑津原の開こん） 武士ぶしの世の中がおわり、仕事のなくな

った武士ぶしをすくうことと、原野げんやを開たくするために、滑津原の開こんが、